

児童発達支援自己評価(令和5年度)

公表 令和6年 4月23日

事業所名 キッズルームひまわり

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	14	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ロッカー以外に障害となる物は置かない</li> <li>・自由遊び場面でおもちゃや絵本のコーナーを分けるようにしています</li> <li>・可能な限り、危険と思われる箇所には覆いをつけたりクッション材でカバーするなど安全には留意している</li> <li>・7~8名が適当</li> <li>・こどもの特性や状態によっては10名以上では狭いと思います</li> <li>・ドアの開閉時に手を巻き込まれる危険があり、何か対策はできないものかと思っている</li> </ul>
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	10	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の配置数は基準を満たしている</li> <li>・クラスを越えて職員間で園児把握に努めるよう心掛けている</li> <li>・専門性向上のために行わなければならない指導が不十分である</li> <li>・年度途中でクラス担任が退職してしまい、一時期様々な職員がクラスに配置され指導したことがありました。やはり、子ども達も落ちつかず乱れた事があった</li> <li>・職員数が足りないと思う。急な欠勤での職員の配置にギリギリな状況である。また、職員が年休を取ることも遠慮してしまう状況である</li> <li>・専門性についてはもっと研修があると嬉しい</li> <li>・職員が不在(欠勤)の場合、余裕が無い時が多い。フリー保育士がいると良い</li> <li>・正規職員が少ないです。任用職員の方たちにはとても助けられています。時間的制約があるので色々難しいことがあります</li> <li>・研修や職員間の情報交換に十分な時間がとれない</li> </ul>
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	13	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分マークを設定し、自分のスペースや椅子など見て理解できるようにしている</li> <li>・刺激となるものを減らし、情報を整理して、わかりやすい環境作りをその時々状況に応じて工夫している</li> <li>・パニックを起こした際に落ち着くための空間が少ない</li> <li>・こどもが混乱しているときにクールダウンする場が主に廊下になってしまいます</li> <li>・個々によって特性に差があるため、優先的に考えるべきことを選択に苦慮する</li> </ul>

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
		④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	13	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・清掃、消毒、整理整頓は毎日確実に実施、確認している</li> <li>・室内やトイレなどの換気、温度設定が難しい。クラスによって違うが室内や教材室が雑然としている</li> <li>・2クラスで使用するトイレ、手洗い場の数が少ない</li> <li>・排煙窓のみが外気との換気場所でしかなく、換気機能として十分な効果がない</li> </ul>
業務改善		⑤ 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	12	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・その都度、クラス担任間でちょっとした話は出来ていると思う</li> <li>・クラス会議、研修会など・クラスで必要なことは話し合いの他に、文書やラインなども使いなるべく共有するようにしています</li> <li>・必要に応じて、正規職員のみ、あるいは任用職員も含めてと会議の場を設けている</li> <li>・個人差も出ているので、一定期間での研修会や振り返りがあると良い</li> <li>・園全体として、ケース検討や勉強会を行えるとよいと思います</li> <li>・正規職員の業務量が多く、任用職員との間での情報共有に十分な時間が確保できていない</li> </ul>
		⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	15	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別懇談や支援計画を念頭において、日々の業務にあたっている</li> <li>・保護者の意向と集団生活の中で可能、不可能なことのすり合わせは難しいと感じる</li> </ul>
		⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	10	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・結果については様々な媒体で周知されている</li> </ul>
		⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	9	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自身が関わっていない部分かと思われるため、よくわからない</li> </ul>
		⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	14	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内部及び外部講師による偏りのない内容での研修</li> <li>・他事業などとも交流があると嬉しい</li> <li>・今年度は職員の体調不良等が続き、余裕がありませんでしたが、皆が悩んでいることをテーマに勉強会等を行えるとよいと思います</li> <li>・毎年、新規採用職員はいるため、基本的な研修は何度でも繰り返し定期的に行なっても良いと思う</li> </ul>

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	15	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別懇談や必要に応じた保護者との連携で適切な課題を設定している</li> <li>・クラスのリーダーである正規職員によって、課題の設定の仕方に違いがあると感じる</li> </ul>
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	11	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭にも働きかけている</li> <li>・十分な行動観察を実施し、日々の変化をきちんと捉えるように心掛けている</li> <li>・ツールを利用して個々を評価していくには、その業務に充てる時間を確保できていない</li> </ul>
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	15	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラス内で途中経過を確認しあっています</li> <li>・考え得ることで実施可能なことについては努力していると思われる</li> <li>・本人支援が中心になっています</li> <li>・当該施設に求められていることと実施可能なことのすり合わせは難しいと感じる</li> </ul>
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	15	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日々、日常の中で計画に沿った支援ができるよう、担任内で意見を出し合い支援を行っている</li> <li>・クラスで話し合い確認している</li> <li>・担任間で共有、理解し、結果の振り返りをしながら支援にあたっている</li> <li>・振り返りに充てる時間が十分に確保できずに担任間の認識に差違がでてしまうことがある</li> </ul>
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	14	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラス担任みんなで考えながら行なっている</li> <li>・年間の大まかな活動計画に基づき、週のリーダーが計画を立てます。互いに内容確認を行い、ときにアドバイスをしあっています</li> <li>・各週のプログラムを年間を通して一覧にし、活動内容に偏りがないよう心掛けたり、繰り返しの経験を積み重ねていかれるようプログラムを組んだりしている</li> <li>・各クラスの特徴があるのも当たり前ではあるが、他クラスのプログラムとの照らし合わせなどで、施設全体としても一貫性のあるプログラム作りができればよいと思う</li> </ul>
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	15	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問14に同じ</li> </ul>
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成しているか	15	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集団の大きさを変えて活動したり、一つのプログラムの中でも個々に応じたねらいを設定したりしている</li> <li>・問10に同じ</li> </ul>

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
	⑰ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	14	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎朝、朝礼が始まる前にクラス内にて1日の流れや分担等話し合っている</li> <li>・家庭の事情で遅出勤をしていますが、連絡ノートや口頭で確認しています</li> <li>・担任間での確認、施設職員間での確認は毎日きちんと行われている</li> <li>・登園バス添乗出発時間によっては打ち合わせに十分な時間が割けないことがある</li> </ul>
	⑱ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	12	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援終了時だけでなく、気がついた時に担任内で共有している</li> <li>・記録を記入しながら話をする</li> <li>・情報共有は意識して行なっている</li> <li>・必ず打ち合わせは出来ない。任用職員同士のみでは話し合いしている。正規職員とは時間が合わず振り返り等出来ないことがある</li> <li>・時間の確保が難しいことが多いです</li> <li>・職員が揃って話しをする時間の確保が難しい</li> </ul>
	⑲ 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	14	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・できるだけ日誌に記入しています</li> <li>・活動日誌の記入は適切に極力当日中に行うようにしている</li> <li>・記入に十分な時間を確保することが難しくなる時がある</li> </ul>
	⑳ 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	13	2	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連	㉑ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	15	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自身は関わっていないが適切に行われていると思われる</li> </ul>
	㉒ 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	14	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要に応じてこちらからの声掛けや提案をしている</li> <li>・問21に同じ</li> </ul>
	㉓ (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	13	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今の自分の環境では、医ケア児との関わりはない</li> <li>・問21に同じ</li> </ul>
	㉔ (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	13	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今の自分の環境では、医ケア児との関わりはない</li> <li>・問21に同じ</li> </ul>
	㉕ 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	15	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問21に同じ</li> </ul>
	㉖ 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	15	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問21に同じ</li> </ul>

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
携	⑳ ⑲ ⑳ ㉑ 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	13	2	・モニタリングの際に園での様子を伝え、各事業所での様子も確認するようにしています ・外部講師として研修していただく機会や他施設での状況等を必要に応じて共有してもらう機会は設けられている ・問21に同じ
	㉒ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	14	・公園で遊ぶことはある
	㉓ (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	10	5	・問21に同じ
	㉔ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	14	1	・バス添乗など、保護者とお会いできる機会に子どもの様子等伝えている ・こまめな連絡は連絡ノートやバス添乗で顔合わせした際、また電話連絡等の様々な手段でコンタクトをとるようにしている
	㉕ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	14	1	・保護者向け研修会の実施 ・保護者が必要と思っている研修内容とのすり合わせ
保護者への説明責任等	㉖ 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	15	0	・担当者は適切に対応していると思われる
	㉗ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	15	0	・個別懇談での直接の意見交換の場を設けることで理解を得られていると思われる ・個別懇談の際に行いますが、詳しくはお伝えできていません。保護者へも内容の研修が必要かもしれません
	㉘ 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	15	0	・連絡帳を通じてやり取り出来ている ・日々の連絡ノートなどでの保護者の悩みや不安に対し、助言等行っている ・連絡帳や電話での相談に対し、担任間で話し合い、また、他の職員に確認するなどして、なるべく早くお答えできるようにしています ・必要に応じてアドバイザーに意見を求めたりして適切に対応していると思われる
	㉙ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	9	6	・父母の会は廃止となったが、保護者の交流の場は設けている ・父母会などは無くなった ・コロナ前のような頻繁な保護者参観日がなくなったことで保護者同士の連携は少なくなったと感じる
	㉚ 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	14	1	・でき得る限りの対応は努力していると思われる

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
	③⑦ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	15	0	・複数年度在籍している保護者に対して情報の重複がないように3年スパンで発信内容の計画を立てている
	③⑧ 個人情報の取扱いに十分注意しているか	15	0	・写真や氏名の取り扱いは特に慎重に行なっている
	③⑨ 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	15	0	・家庭訪問を含めて意志疎通に努めている
	④⑩ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	4	11	
非常時等の対応	④① 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	15	0	・定期的、及び計画的に実施され、その時々状況に応じてブラッシュアップされている ・実際起こった場合が想定外だったらどうするか ・細かいマニュアル作りも必要であるが、叱咤の現場での判断が適切にできるような最低限守らなければいけないことの徹底なども必要と思われる
	④② 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	15	0	・問41に同じ
	④③ 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	15	0	・看護師との情報共有 ・予防接種の情報は看護師から知らされることもあります
	④④ 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	15	0	・対応に誤りがないように複数のチェックを重ねている ・一人の職員が自身も食しながら、アレルギー児と非アレルギー児の給食介助をする際の危険性への対策
	④⑤ ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	14	1	・事例集はないが、事例に基づき話し合う場があり、改善された物事があります ・事例を基に対処策を職員全員で考える機会として有効に捉えて再発防止に努めている ・以前、ヒヤリハットに挙げた事例は再発防止のためにも同様の状況は作らないことが原則と思うのだが、自分は大丈夫という意識で同様の行動をしている職員に対しては疑問を感じる
	④⑥ 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	15	0	・クラス内においても担任間で意識しあって対応している ・虐待と必要として行なっている行為との線引きが難しい

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
	④7	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	14	1	

○この「児童発達支援自己評価(令和5年度)」は、事業所全体で行った自己評価です。